

# 令和6年能登半島地震災害派遣報告書（新潟県薬剤師会 第5班）

報告 坂井東調剤薬局 吉田 智彰

## ○活動日時

令和6年2月8日（木）～2月12日（月）

## ○主な活動場所

国立能登青少年交流の家 （宿舎 | 石川県羽咋市柴垣町14-5-6）

輪島市ふれあい健康センター （薬剤師会現地本部 | 石川県輪島市河井町2-287-1）

輪島地区避難所36カ所

## ○派遣メンバー

滝沢 尊子 所属：みのり薬局（新潟市・秋葉区）

中澤 太陽 所属：新潟県立燕労災病院（燕市）

吉田 智彰 所属：坂井東調剤薬局（新潟市・西区）

## ○1日のスケジュール

5:00～起床

5:30～宿舎発

8:00～現地到着・・・リーダーは輪島市のDMAT会議参加、他のメンバーは活動準備

9:00～活動開始・・・リーダーは輪島市ふれあい健康センター内会議参加、

薬剤師メンバー間ミーティング

16:00～活動終了

19:30～宿舎到着

20:00～派遣薬剤師全体ミーティング

20:30～同活動地域チーム間でのミーティン

グ、活動の引継ぎ等

## ○輪島班の主な活動内容

- ・災害処方箋や定期薬処方箋の処理  
モバイルファーマシー 地元薬局から薬の受け取りと患者への配達
- ・避難所巡回

OTC管理、OTCの配布、感染症対策、衛生管理、CO2測定、換気指導など



薬剤師会本部ミーティング

## ○備考

派遣活動した時期は、輪島地区の医療活動のフェーズが亜急性期（地域医療やライフライン機能、交通機関等が徐々に復旧している状況）から慢性期（避難生活が長期化しているが、ライフラインがほぼ復旧して、地域の医療機関や薬局が徐々に再開している状況）に移行している期間で徐々に医療活動を縮小へ移行し始めた時期でした。そのため災害処方箋や定期薬処方箋の処理の件数は少なく、避難所巡回が主な活動でした。

避難所巡回では、

- ① 避難場所での感染症対策として感染者状況の有無、感染者を隔離するスペースの有無、消毒薬の配置等の確認・指導。
- ② 生活環境の確認としてトイレの衛生状況、換気状況・CO<sub>2</sub>測定等の衛生管理。（室内で石油ストーブを使用している部屋では、CO<sub>2</sub>濃度が4000ppmを越えている場合もあった。）
- ③ OTC配置、薬剤に関するニーズの聞き取り、薬・健康相談等。

避難所によって状況は様々でまだ支援を必要としているところもあり引き際が難しいと感じました。東日本大震災の時よりも復旧が遅れていると聞きました、そのフェーズにあった支援を継続し1日でも早く復興することを願います。



避難所の居室



避難所 OTC・衛生用品の配置



輪島地区派遣  
東京・三重・新潟薬剤師チーム